

平成27年5月25日(月)

◇2014年(平成26年度)の総括報告

NPO法人の活動として3年目を迎える湘南NPOサポートセンターは、一人ひとりが暮らしやすいまちを目指して活動する、市民及び市民活動団体、自治会を中心とした地域活動団体に関する相談・助言、人材育成を目的に事業活動を行ってきました。

(1) 市民、市民活動団体、自治会を中心とした地域活動団体

(2) 行政等の公共機関

(3) 商店街、企業等の民間事業者

をつなぐ中間支援組織としての役割を担うとともに、新しい公共の目指す協働の理念を基に、「共に考え、共に創る」地域社会の推進に努めました。

共助社会と言われる昨今、少子高齢化が予想以上に進み、地域市民の一人ひとりが力を合わせて行かなければ、地域の課題を解決することは難しいとされています。そのような中、平成26年度も行政との協働によるひらつか地域づくり市民大学を開催し、地域内の連携を推進する地域コーディネーターの育成支援事業を行ってまいりました。

また、市民活動団体や地域活動団体等の活動支援として行っているメディア事業活動への高い評価をいただく中で、団体からの依頼も増え、充実した活動を行うことができました。

今年、諸事情によりサロン業務を休止せざるを得なくなり、事業内容の見直しを図って活動を進めてきましたが、平塚市との協働事業を行う中で、地域住民との関係が強固になるなど、新たな広がりも見えてきました。当法人に対する地域の方々からの期待が、活動への励みとなっていることは事実です。

さらには、市内2つの事業者と連携し平塚市西部福祉会館・七国荘の指定管理受託に向けて共同事業体を発足しました。企業との連携および地域活動団体との連携力を活かした事業提案を作成し申請しましたが、惜しくも次点となり受託には至りませんでした。しかしながら、この度のチャレンジは次へのステップにつながるものとし、地域社会の自立を促すため新たな挑戦をし続けたいと考えています。

人口減少社会の中で市民活動団体も地域活動団体も高齢化・担い手不足が大きな課題となっています。そのような中、地域社会における多様な課題を解決するためには、さまざまなセクターとの連携や課題を共に考えていく場づくりが重要と考えます。当法人の役割はまさにそこにあると考えますが、持続可能な活動にするためのしくみづくり、継続性のある団体運営を今後も継続した課題として取り組んでいきたいと考えます。

1 事業報告

平成26年4月1日～27年3月31日

定例会	理事会
第1回 4月9日	第1回 4月9日
第2回 6月3日	
第3回 7月18日	第2回 7月18日
第4回 9月2日	第3回 9月2日
第5回 11月25日	
第6回 12月12日	第4回 12月12日
第7回 1月21日	
第8回 2月17日	第5回 2月17日
第9回 3月10日	

総会 5月24日

事業別会議

(1) 平塚市との協働事業 ひらつか地域づくり市民大学	随時開催
(2) メディア事業部	随時開催
(3) 情報誌LIAISON編集会議	随時開催
(4) 市民活動団体との連携促進事業(交流会等)	随時開催

2 事業の内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 市民や市民活動団体及び地域活動団体の自立と連携を推進する事業

ア 市民活動・地域活動の相談及びコーディネート事業

・内 容 ◆市民や市民活動団体の相談対応及びコーディネートを行いました。平塚市吉沢寺子屋PJを始めとする地域活動の相談や援助の活動、情報誌やWEB等の援助の活動を行いました。

4年目を迎えた「吉沢寺子屋」は、町内福祉村ひだまりの里の事業として地域の子どもたちがたくましく育ち豊かな社会性を身につけることを目的に、毎月第2月曜の放課後と第4土曜の午前中に開催し、①学習支援②遊びの提供③ゆめ広場との世代間交流を行っています。①、②は神奈川大学平塚地区BBS会の協力のもとに行っています。今年度は寺子屋つうしんの発行を地域の寺子屋担当者が主体で行うようになったため、当会としては、ブログの更新、活動のサポートなどを行いました。地域が一体となって子育て環境を支えることで、地域コミュニティの再生を目指しています。

◆夏休み企画絵ハガキコンクール事業(平塚郵便局及び市内各事業者協賛)

概ね小学校児童を対象に、日頃のお父さんお母さんに対する感謝の気持ちを絵八ガキに託す事業。約4000名の児童にご応募をいただき、市民による投票結果をもとに賞状を発行しました。市内各事業者の協力協賛及び市内小学校・地域のご協力をいただき有意義な事業となり、児童・ご家族からも高い評価をいただきました。

※この事業は平塚郵便局及び市内各事業者の協力協賛により実現

- ・日 時 随時
- ・場 所 平塚市内、平塚市吉沢公民館、他
- ・従事者人員 5人
- ・対 象 者 市民、市民活動団体、地域活動団体等
- ・支 出 額 19,000円

イ 交流会の開催

- ・内 容 ◆市民活動団体の皆さんとの交流・情報交換の場として交流会を開催しました。
- ・日 時 5/24,12/12 の総会交流会及び年忘れ交流会の2回
- ・場 所 平塚市内
- ・従事者人員 5人
- ・対 象 者 市民、市民活動団体
- ・支 出 額 96,279円

ウ 平塚市委託事業：ひらつか地域づくり市民大学の開催、地域づくりアドバイザー派遣事業

- ・内 容 ◆地域づくりの担い手の育成と地域づくりへの関心を高めていただくため、第2回ひらつか地域づくり市民大学を開催しました。
- ・日 時 平成26年9月20日(土) まちづくりフォーラム(公開講座) 114名参加
 9月27日(土) 第1回地域コーディネーターの役割とボランティアの上手な活かし方
 10月18日(土) 第2回地域づくりの取り組みから
 (1) 横内地区を歩いてみよう
 11月 1日(土) 第3回組織運営の肝をおさえる会議のやり方と場づくり
 12月 7日(日) 第4回地域づくりの取り組みから
 (2) 吉沢地区地域活動団体の連携会議に参加
 1月31日(土) 第5回地域づくりの担い手を増やすには(意見交換会)
- ・場 所 平塚市内
- ・従事者人員 7人
- ・対 象 者 市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民
- ・支 出 額 339,500円

エ 市民活動に関する情報の収集と発信事業

- ・内 容 ◆市民活動を広く市民に周知するための情報発信として、市民と団体とをつなぐ市民活動情報紙「LIAISON」を発行しました。
第9号平成26年7月25日発行 保護司の活動の現場を語る。取材：湘南家庭研究会・ほんわかママ（2000部発行、市内各所へ配架）
◆WEBサイトを活用し会の活動の案内や、市民活動に関する情報を発信し、市民と団体、行政、企業等とのつながりをつくりました。HP・ブログ・FBを活用し事業の告知、活動報告などリアルタイムで発信しました。
- ・日 時 通年
- ・場 所 平塚市内及び近隣市町村
- ・従事者人員 5人
- ・対 象 者 市民、市民活動団体、平塚市及び近隣市町村民
- ・支 出 額 22,705円

(2) 市民活動や地域活動及び地域社会の情報化やまちづくりの支援事業

ア メディア事業部

- ・内 容 ◆市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等が発行するチラシやリーフレットの作成に関する相談と助言及び制作を行いました。
実績：介護の会はまゆう様、ふじみ野自治会様、桂川・相模川流域協議会様、馬入水辺の楽校の会様
◆市民及び市民活動団体、地域活動団体、事業者等WEBサイトの環境構築のための相談、援助を行いました。
実績：平塚市市民提案型協働事業「ひらつかスポーツナビ」構築に向けた事業：平塚市スポーツ課とNPO法人湘南ふじさわシニアネットとの協働の協力団体として参画しています。
◆援助の活動を行うことで市民、市民活動団体、地域活動団体の組織基盤強化と団体の自立に向けての後押しとなりました。
- ・日 時 通年
- ・場 所 平塚市内及び近隣市町村
- ・従事者人員 6人
- ・対 象 者 市民、市民活動団体、地域活動団体、事業者等
- ・支 出 額 828,221円

平成26年度 特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター 活動計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員	51,000		
賛助会員	30,000		
		81,000	会員17名×3000円 賛助会員10名×3000円
2 受取寄付金			
受取寄付金	153,113		
協賛金	20,000		
		173,113	
3 受取助成金等			
平塚市協働事業受託金	300,000		
ブリヂストンちょボラ基金	100,000		
		400,000	
4 事業収益			
メディア事業	831,710		
講座参加費	27,000		
地域活動支援事業	119,500		
		978,210	
5 その他収益			
受取利息	560		
前年度繰越金	111,541		
		112,101	
経常収益計			1,744,424
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
メディア制作委託費	270,600		
メディア事務管理費	90,000		
平塚市協働事業費	185,200		
市民活動支援事業費	19,000		
人件費計(A)		564,800	デザイン費・WEB費 事務人件費 企画運営・調査研究・報告書作成 寺子屋コーディネート・情報誌作成
(2) その他経費			
メディア事務諸経費	467,621		
協働事業関係費	154,300		
市民活動支援事業費	105,979		
事務・消耗品費	3,935		
研修費	6,000		
HP運営費	20,000		
経常事務費計		757,835	印刷費、事務諸経費等 事務備品費・印刷費・謝礼等 寺子屋・情報紙発行・交流会等
経常費計(B)			更新費
2 管理費			
管理人件費	101,600		
事務・消耗品費	21,448		
通信費	25,354		
PC関係費	3,402		
租税公課	78,100		
管理費計(C)	229,904	229,904	事務人件費・会計費・交通費 コピー費・備品費 通信費 サーバレンタル・PC代他
経常費用計			1,322,635
当期正味財産増減額			1,552,539
前期繰越正味財産額			191,885
次期繰越正味財産額			

平成26年度 貸借対照表

平成27年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 湘南NPOサポートセンター

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	191,885	
未収金		
.....		
流動資産合計		191,885
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
.....		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
.....		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
敷金		
.....		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		191,885
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
.....		
流動負債合計	0	
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		
当期正味財産増減額		
正味財産合計		191,885
負債及び正味財産合計		191,885